

## 平成27年度 リニアドライブ技術委員会 活動報告

委員長 北野淳一

### 1. 技術会合(シンポジウム, 見学会, 産業応用フォーラム, 講習会) ※年度内(4月～翌年3月)分をすべて記載.

開催日	会合種類	会合名	場所	実施状況
6/30	見学会	烏山線	烏山線	11名
9/3	D部門大会シンポジウム	最新!リニアモータ応用の状況2015	大分大学	5件, 30名
11/10/20	見学会	JAXA種子島宇宙センター	種子島	25名
/	産業応用フォーラム	(仮)技術報告「新世代アクチュエータの性能評価とそれを活かす多自由度構成の提案」	東京	
H28.3	全国大会シンポジウム	※不参加	東北大学	

### 2. 研究会予定と実施(実績/予定) ※1月～12月, および翌年1月～3月をすべて記載.

開催年月日	H27.6/25,26	H27.6/29	H27.8/6,7	H27.9/8,9	H27.11/21	H27.12/15,16	H28/1.26
テーマ (共催機関)	「リニアドライブの応用, リニアドライブ技術一般, および磁気応用一般」(IEEE MAG33 信越協賛)	「鉄道+リニアドライブ一般」(TER 共催)	「小形モータ一般・永久磁石モータ一般/リニアドライブ一般/家電・民生一般」(RM/HCA 共催)	「電磁アクチュエータシステムのための磁性材料(軟磁性および硬磁性)とその評価技術, リニアドライブ一般」(RM共催, 日本磁気学会共催)	「磁性材料, MD一般, 磁気支持・LD一般」(MD/MAG 共催)	電力用磁性材料, 電磁アクチュエータシステム用磁性材料, 磁気応用一般, リニアドライブ一般 (MAG 共催, 日本磁気学会合同)	リニアドライブ技術一般, 磁気浮上技術, リニアドライブの応用, および磁気応用一般
場所	長野	宇都宮	梅田	名古屋	種子島	沖縄	大阪
日数	2	2	2	2	1	1	1
論文数(実績/予定)	17/20	4/7	33/20	10/10	19/20	19/20	/8
論文累計(実績/予定)	17/20	21/27	54/47	64/57	83/77	102/97	/105
参加者数	54名 (のべ80名)	10名	93名	8日 30名 9日 100名	28名		

### 3. 特記事項

- 5/14-15 第27回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム SEAD27 ハウスステンボス  
基調講演4件, 一般講演155件, 参加者227名, 懇親会118名, 5/16 施設見学会  
次年度 2016/05/18-20 慶応義塾大学 日吉C 杉浦壽彦実行委員長 日本機械学会主催
- 7/27-29 リニアドライブ国際シンポジウム LDIA 2015 Aachen 57件, 92名/18国
- 9/9 日本磁気学会学術講演会シンポジウム 相互参加 5件, 100名
- 11/14, 15 第58回 自動制御連合講演会 神戸大学六甲台C OS磁気浮上関係
- 11/18, 19 第9回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム(Sympo2015) 上智大学
- 2016/9/23-26 磁気浮上システム国際会議 MAGLEV 2016 Berlin
- 2017/9/6-8 リニアドライブ国際シンポジウム LDIA 2017 大阪工業大学梅田C 12/11準備会

#### 技術報告

- MLV 1334 環境調和型磁気支持応用技術の体系化 …2/25発行済  
MDD 新世代アクチュエータの性能評価とそれを活かす多自由度構成の提案 …11月末提出予定  
MEL 最新!リニアモータ応用の状況2015 …10/27提出済

#### 重点取組進捗状況

- ①英文論文誌への投稿推薦・・・継続中
- ②基礎, 応用研究会の実施 (磁気関係)
- ③技術委員会HP 随時更新。

以上